



令和7年度全国学力・学習状況調査「中学校理科」では、CBT方式（オンライン方式）で実施し、IRTを用いた結果返却がなされました。全国学力・学習状況調査は令和8年度の中学校英語のみCBTで実施およびIRTを利用した結果返却・公表、令和9年度以降の小学校、中学校ともにCBTに全面移行となります。IRTに基づく調査結果を今後の学習指導に活用してください。

IRT (Item Response Theory: 項目反応理論) とは

IRTとは

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。

IRTスコアとは

IRTに基づき各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

IRTバンドとは

IRTスコアを1～5の段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドになります。

※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題に正答していると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTは英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFLなど）等で採用されています。

下の二次元コードを読み取ると個人票リーフレットや調査結果（個人票）の見方について載っているよ。



【参考資料】



「中学校理科」IRTを用いた結果返却に関する動画・リーフレット

文部科学省ホームページより

令和7年度「中学校理科」のIRT分析結果について

【問題構成について】

- ・生徒1人あたり、公開問題10問と非公開問題の16問を出題
- ・公開問題：全日程に共通する問題 … 6問
実施日により異なる問題 … 4問
- ・非公開問題：幅広い内容・難易度等から出題。生徒ごとに異なる問題（16問）を解く。

【学校ごとの結果】

全国平均IRTスコアで表示

※令和7年度調査「中学校理科」の全国（公立）平均503のIRTスコアで表示

【結果の例】

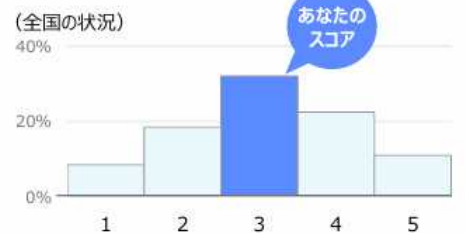
	平均IRTスコア
貴校	***
徳島県（公立）	494
全国（公立）	503

※全国のIRTスコアは、算出された各生徒のスコアを足し合わせて平均をとったものであるため、500に一致するとは限りません。

【個人の結果】

5段階のIRTバンドで表示・返却

- ・生徒の「中学校理科」結果を5段階のIRTバンドで表示。（標準スコアは3、最大スコアは5）



※IRTバンドの区切り方は、生徒ごとに算出したIRTスコアを、等間隔に決められた幅に区切って設定しています。

※IRTバンドは、各生徒に対して出題された問題の正誤状況に基づき総合的に評定されるもので、学習評価で用いる評定とは異なります。また、IRTバンドは教科全体についてのみ示されています。

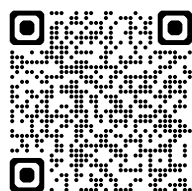


「中学校理科」IRTに基づく結果の活用・指導を！



活用例

- 公開問題の正誤状況をもとに、個々の生徒の課題を把握
- 予測正答率を参考に、学習状況の把握や振り返り、調査以降の学習成果の確認等に活用



令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

国立教育研究所ホームページより

上の二次元コードを読み取ると、GP分析図についても紹介されているよ。

